

## ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

## 礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局  
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201  
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817  
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



恐竜のアトラクションで遊ぶ子ども(カンボジア孤児院)

皆様の尊い御支援、御協力、いつもありがとうございます。

今後の世界の動向を見る上で、最重要の一つと言われるアメリカの大統領選挙が先月終了しました。終了と言っても、私がこのニュースレターを執筆している現在、民主党の候補者、バイデン氏が勝利宣言するも、現大統領のトランプ氏は、それを認めず、法廷闘争を狙うなど、まだ終了とは言えないのかもしれませんが。アメリカは、このまま混迷のなかを、暫く進んでいかざるを得なくなるのかもしれない状況の中、これこそこれからの世界の状況を表している、とみる方もおられるようです。

世界が、国が、さらには家庭が不安定になると、その影響は社会的弱者と言われる子供達に、非常に強く影響を与えていきます。近年、日本国内でも子供の虐待事件を多く耳にするのは、まさにその為と思わざるを得ません。

そのような不透明な時代の中で、皆様の御協力によって、私共孤児院の子供達は心身共に健やかに過ごせていることは感謝に絶えません。

また、今の社会情勢に鑑み、各孤児院からの運営費の増額要求はもっとも思うところが多く、なんとか子供達のためにその要求に応じてあげたくも、正直、厳しいのが現状と言ったところがあります。

ただ、皆様の御支援は、子供達の命に、本当に直結しております。

どうぞこれからも皆様の御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。

## カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。10月に入って、2歳の女の子SVを受入れました。他団体で短期的なケアを受けていましたが、長期的なケアが必要とのことでオファーが来ました。入院当初は泣いてばかりでしたが、4日目ぐらいから少しずつ私達の顔を覚え、自分から駆け寄って来るようになりました。思った以上にお話しも出来、食欲もあるので、今のところ問題もなく過ごすことが出来ています。しばらくの自粛期間から小中高が先に再開し、10月中旬から幼稚園も再開するという連絡を受けました。昨年幼稚園に通っているANと共に、今回はPTも入園手続きをし、登園し始めてます。PTは、孤児院に来た時から皮膚の痒みがあり、皮膚科にて処方された薬で現在回復に向かっています。高校入試は11月、高校卒業試験は12月という予定で、孤児院の3人の子ども達が補習を受けながら備えています。良い結果が出来るようにと願っています。コロナ禍の中で、カンボジアでは新学期を迎え子ども達もそれぞれに新しい1年を始めています。子ども達の為、皆様のご支援に心から感謝いたします。



自分より小さなSV(写真中央)をお世話してくれるAN(右)とPT(左)

## フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

2020年~2021年の授業が始り1ヶ月経ちました。子どもたちが家で勉強することで保護者の負担も大きくなり、政府に対する不満も出ていますが、子どもたちはリラックスして授業を受けることが出来、保護者は子どもが勉強している様子を間近で見守ることが出来ます。宿題や課題は保護者が学校へ提出するので、先生と個人的に話す時間を持つことが出来ます。そして何よりも子どもたちを感染から守るのに役立ち、親子の時間を持つことが出来ます。教育省は今月に入り、オンラインとモジュールにラジオ授業の時間も加えました。素晴らしいことに山岳部の子どもたちもラジオを通して先生の声を聴くことが出来ます。毎年11月は学校のカリキュラムでカウトのキャンプが行われるのですが今年はありません。就学支援生たちは、毎年12月に行われる年末感謝パーティー(年一度全員が集まる)は今年もあるかと聞いて来ます。子どもたちによれば「去年のパーティーは今まで最高だった!」そうです。皆様のご支援ご協力を心から感謝致します。引き続きフィリピンの子どもたちのために皆様の暖かいご支援をよろしく願いいたします。



オンライン授業を受ける就学支援生

## ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)? 皆様の日頃の尊いご支援に感謝申し上げます。前回お伝えした生徒、クレオパトラが、結核により天国に旅立ちました。クリニックにてマラリアの治療を受けていましたが、改善せず、国立の病院に行き、ようやく結核と判明しました。そして入院して治療を開始した翌日、ついに力尽きました。HIV患者が最も罹病しやすく、命を落とす原因となるのが結核です。免疫力が落ちると発症してしまうため、しっかり食べて、体力を維持する事がとても重要なのです。学校がコロナによって閉校されていた6ヶ月間、給食の機会を失ってしまった子ども達のために、食糧等を配布して支援を続けてきましたが、力及ばず...この痛みを、最初で最後にする事を願っています。9月末に学校が再開されて以降も、朝食を提供するための財源が確保されていないままです。現地の方々のご厚意によって、時々、おかゆやパン、コーンフレークを提供する事ができていますが、月~金曜日まで毎日提供する事はとても重要であり急務です。また、来年度より、新たに20人の孤児達を受け入れる予定もあります。どうぞ更なるご支援とご協力をお願い致します。



ご寄付で届けられたコーンフレークで幸せな一日の始まり!

## ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。やっと雨期に入り、連日の43度だった日々が嘘のように涼くなりました。今月初め、身分証明書の更新のため、書類を揃えて連邦警察署へ行きました。証明写真を撮るのにカメラが作動しなかったようで、掃除係が念入りに拭いたのが悪いと、他の方々も来て一時マスクも半分ズレて大騒ぎになり、結局コンセントが外れていました。私の指紋がほとんど取れてると言われてがっかりしましたが、親切に私の名前まで覚えてくださり、後で水仕事の褒め言葉だったかと受け取りました。サインは当然のようにデジタルでした。また、先日は礎の石孤児院のグララパスにある敷地のCARという書類の作成が必要になり、以前スーパーで会って声をかけた日系ブラジル人の女性カチアさんの旦那さんが建築技師で、ゼロが1つ少ない金額で作成してくださいました。このご夫妻は礎の石孤児院の働きのために協力すると申し出てくださっていて、感謝しています。



お出掛け中の松本さん